

# 令和8年8月から 高額療養費制度 が見直されます



## 高額療養費 制度とは

ひと月に医療機関に支払った額が高額になった場合に、定められた上限額を超えて支払った額を払い戻す制度です。上限額は、個人や世帯の所得に応じて決まっています。

## 公的医療保険制度の持続可能性の確保

### 高額療養費の上限額が変わります

月単位の自己負担について、将来にわたり制度を維持するため、医療費の伸びや所得に応じてご負担いただきます。ご理解をお願いいたします。

## 長期にわたり治療が必要な方のセーフティネット機能の強化

### 新たに年間の上限額が新設されました

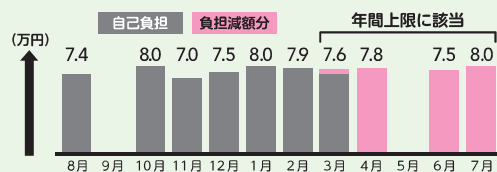
月ごとの自己負担額が積み上がっても、年間の上限額に達した後は、それ以上の医療費については、保険者から還付を受けることができます。

※年間とは8月から翌年の7月までをさします

年間上限額の新設により、  
以下の方は医療費負担が軽くなる場合があります。

- これまで「多数回該当」に該当しなかった方
- 見直しにより「多数回該当」の対象から外れる方
- 現在、毎月高額療養費を利用している方
- 極めて高額な医療を受けた方

例：これまで多数回該当に該当しなかった方  
(区分ウ：年収約370万円～約770万円)の場合



## ほかにも負担を軽減する仕組みがあります

### ●多数回該当

直近12か月以内に3回以上、上限額に達した場合、4回目から上限額が下がります。

### ●外来特例 (70歳以上で現役並み以外の方)

外来診療だけの月の上限額があります。さらに、年間の上限額が設定され、月ごとの自己負担額が積み上がっても、上限額に達した後は、還付を受けることができます。

上限額は所得等に応じて異なります。詳細は厚生労働省のウェブサイトをご覧ください。

## お問合せはご加入の保険者まで

- 健康保険組合、全国健康保険協会、共済組合
- 国民健康保険組合
- 各都道府県の後期高齢者医療広域連合
- お住まいの市町村 (国民健康保険担当、後期高齢者医療担当)

なお、今回の見直しの背景等に関するご質問等は、  
厚生労働省コールセンター

☎ 0120-617-111  
においても承っております。

※対応時間：月曜日～土曜日 9時～18時 (日曜日・祝日・年末年始は休業)

※運用期間：令和8年7月～令和9年3月



詳しくはこちらから

# 高額療養費制度の上限額

(令和8年8月から令和9年7月まで)

※高額療養費制度の見直しは令和8年度と令和9年度の2段階にわけて実施します。

下の表は令和8年8月から令和9年7月までの内容です。令和9年8月以降の見直しについては、厚生労働省ウェブサイトをご参照ください。

| 適用区分  |               | 年収目安                                 | 入院＋外来【月額上限】<br>(世帯ごと)<br>〈多数回該当〉 | 入院＋外来【年間上限】<br>(世帯ごと) | 外来<br>(個人ごと)<br>※70歳以上のみ      |
|-------|---------------|--------------------------------------|----------------------------------|-----------------------|-------------------------------|
| 70歳未満 | 70歳以上         |                                      |                                  |                       |                               |
| 区分ア   | 現役並みⅢ         | 約1,160万円～                            | 270,300円＋1%<br>＜140,100円＞        | 1,680,000円            | —                             |
| 区分イ   | 現役並みⅡ         | 約770万円～<br>約1,160万円                  | 179,100円＋1%<br>＜93,000円＞         | 1,110,000円            | —                             |
| 区分ウ   | 現役並みⅠ         | 約370万円～<br>約770万円                    | 85,800円＋1%<br>＜44,400円＞          | 530,000円              | —                             |
| 区分エ   | 一般Ⅰ・Ⅱ         | ～約370万円                              | 61,500円<br>＜44,400円(※1)＞         | 530,000円(※2)          | 月額上限 22,000円<br>(年間上限 21.6万円) |
| 区分オ   | —             | 住民税非課税<br>【70歳未満】                    | 36,900円<br>＜24,600円＞             | 290,000円              | —                             |
| —     | 住民税<br>非課税世帯Ⅱ | 住民税非課税<br>【70歳以上】                    | 25,700円<br>＜24,600円＞             | 290,000円              | 月額上限 11,000円<br>(年間上限 9.6万円)  |
| —     | 住民税<br>非課税世帯Ⅰ | 一定所得以下<br>(年金収入約80万円以下など)<br>【70歳以上】 | 15,700円                          | 180,000円              | 月額上限 8,000円                   |

※1 年収約200万円未満である者は、令和9年8月以降、多数回該当の金額が引き下がる(44,400円→34,500円)。

※2 年収約200万円未満であることが確認できた者は、年間上限41万円を適用し、令和9年8月以降に償還払い。

## 高額療養費制度の見直しに係る Q & A

### Q. 8月から医療機関の窓口で支払う医療費が増えるのですか？

A. 窓口で支払う医療費は、その月にどのくらい医療を受けるか、そしてその月の医療費が上限額に達するかどうかによります。

### Q. 自身の適用区分はどのように確認できますか？

A. どの適用区分に該当するかは、マイナポータル、資格確認書(任意記載事項あり)又は限度額適用認定証等でご確認いただけます。

### Q. 高額療養費の支給を受けるには、どうしたらいいですか？

A. 原則、マイナ保険証をお持ちの方は、医療機関を受診する際、手続きなしで高額療養費の適用を受けられます。マイナ保険証をお持ちでない方は、資格確認書(任意記載事項あり)又は限度額適用認定証等をご用意いただくか、保険者に申請を行う必要があります。(ただし、75歳以上の方は、2回目以降は申請がなくても自動的に口座に振り込まれます。)

なお、年間上限額を超えた部分については、一旦医療機関の窓口でご負担いただき、保険者から償還払いにより支給されます。